

まちの話題



厳かに大行列

弘法寺の跣供養

千手山弘法寺（牛窓町千手）で5月5日、県指定重要無形民俗文化財の跣供養が行われました。

弘法寺の跣供養は、奈良時代の「中将姫伝説」の物語を、行道面を付けた観音行列で演劇化した祭り、日本三大跣供養の一つとされています。

ドラとホラガイが鳴る中、蓮台に乗る「中将姫」、六観音、地藏、天童、僧侶、稚児などの大行列が、ゆっくりと東壽院から遍明院へと練り歩きました。大勢の見物人に見守られながら、行列は厳かに執り行われました。

見物人に見守られながら、大行列が東壽院から遍明院へと練り歩きました



地域全体で考えよう

ハンセン病問題シンポジウム

地域社会の中で療養所としてのあるべき姿を地域全体で考えようと、邑久町公民館で4月26日、「地域社会とハンセン病問題」のシンポジウムが行われました。

全国13カ所あるハンセン病療養所のうち、2カ所あるのは本市だけで、施設入所者の高齢化が進む中、療

養所の将来はどうなるのかが課題となっています。

シンポジウムでは、南智岡山県ハンセン病問題対策協議会長の基調報告「人権問題の現状と課題」が行われた後、立岡脩二市長など5人のパネリストを迎え、パネルディスカッションを開催。活発な意見交換が行われました。



活発に意見が交わされたパネルディスカッション

文化的な生活の向上を目指す

牛窓浄化センター通水記念式典

5月8日、牛窓浄化センター（牛窓町牛窓）1期工事が完成し、同所で関係者を迎え、通水記念式典が行われました。

立岡脩二市長が「地域の皆さんに利用していただきたい」と式辞を述べた後、関係者などに感謝状が贈られました。

この牛窓浄化センターは、平成15年に事業認可され、本年3月に完成。処理場建設費は、13億4千万円。最終的には6、600人（2、000戸）の処理が可能となります。

4月から牛窓と長浜の一部地域で、供用を開始しました。



通水を記念し、関係者によりテープカットが行われました

いつまでもお元気で

益田ヤスノさんが満100歳に

4月13日に100歳の誕生日を迎えた益田ヤスノさん（牛窓町鹿忍）に15日、県と市からお祝い状と記念品が贈られました。

立岡脩二市長や大手悟郎備前県民局健康福祉部長らが、入所中のあじさいのおか牛窓（牛窓町長浜）を訪ね。益田さんは、「皆

さんに祝っていただいて、とてもありがたい」と喜びと感謝の気持ちを述べていました。

プロレスなどの格闘技が好きで益田さんは、健康のためバランスの良い食事を心掛け、好き嫌いなく何でも食べます。益田さん、これからも元気で過ごしてください。



お祝い状を受け取る益田さん(左)

祭りを満喫

大賀島権現祭

4月29日、大賀島寺（邑久町豊原）で権現祭りが行われました。

豊安・邑久郷・仁生田・円張の子どもたちが、日ごろから懸命に練習してきたしゃぎりを奉納。もちつき大会も行われ、子

どもたちの大きな歓声が上がっていました。

午後からは、子どもたちを乗せただんじりや大が境内を勇壮に練り歩き、大勢の皆さんが祭りを満喫していました。



しゃぎりを奉納する仁生田地区の皆さん



福岡市場小路一带にはテントが立ち並び、大勢の人でにぎわいました

地元の特産品が大集合！

備前福岡の大市

4月27日、かつて中世福岡の市開催場所であった長船町福岡市場小路一帯で、備前福岡の大市が開催されました。

毎月第4日曜日に行われている備前福岡の市ですが、この日は大市とあって20テントが大集合。地元の特産品が立ち並び、

大勢のお客さんでにぎわいました。

牛窓フィッシュバーガー、邑久ベジタブルバーガー、長船鴨ライスバーガーの瀬戸内バーガー3兄弟も出店。備前福岡の大市の新しい特産品として、人気を集めています。